様式第３号（第１２条関係）

会　　議　　録

会　議　の　名　称	令和７年度第３回吉川市水道運営委員会（書面会議）
開　催　日　時	令和７年１０月１日（水）
開　催　場　所	―
出席委員（者）氏名	（市議会）戸田馨委員 （使用者）阿部照義委員、辻健人委員、富岡透委員、 中島眞由美委員、番場勇貴委員、平塚史子委員、山﨑成一会長 （有識者）宇野二朗副会長、木暮昭彦委員
欠席委員（者）氏名	なし
（　事　務　局　） 担当課職員職氏名	水道課長兼水道技術管理者　吉野達也 施設担当主査　本間廣勝、施設担当主査　松本謙一 庶務担当主査　山﨑真由美、庶務担当　遠山美南海、野澤文彌
会議次第と会議の公開又は非公開の別	【次第】 １　議　事 (1) 吉川市水道ビジョン（経営戦略）改定の素案について 【公開・非公開】公開
非公開の理由 （会議を非公開にした場合）	
傍　聴　者　の　数	０名
会議資料の名称	第２次吉川市水道ビジョン（経営戦略）素案 吉川市水道運営委員会名簿 令和７年度吉川市水道運営委員会会議開催予定表
会議録の作成方法	□録音機器を使用した全文記録 □録音機器を使用した要点記録 ■要点記録

会議録確認指定者	富岡透委員、平塚史子委員
その他の必要事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）

	1　議事 会議録について、書面会議開催通知により、富岡委員と平塚委員を署名委員に指名する。 (1) 吉川市水道ビジョン（経営戦略）改定の素案について 第２次吉川市水道ビジョン（経営戦略）素案に基づき、書面審議 【意見・質疑等】
木暮委員	P3 にある表 2-1 について、吉川市として各施策の推進により推計パターン②を採用しているようだが、本文に説明がないため表記が必要と考える。
事務局	説明を追加する。
木暮委員	P10 の中段「一方・・」以下の埼玉県水道整備基本構想の内容が、2. 包括業務委託の項にあるのは違和感があるため、新たに項を追加した方が良い。
事務局	3.広域化の検討を追加する。
木暮委員	P15～17 の需要予測は、P2 の表 2-1 推計パターン②を引用しており、吉川市全体として出生率 2.07、人口 77,000 人を目標としているが、出生率 2.07 は根拠のある数字なのか。
事務局	第 6 次吉川市総合振興計画において示している出生率であり、総合振興計画ではパターン②を基に計画を立てているため、水道ビジョンにおいても同様としている。
山﨑会長	P1 の中段にある「災害の取り組みとともに・・」が何を指しているのか分からないので表記を変更した方が良い。
事務局	表記を「災害対策の取り組みを進める中で、」に修正する。
山﨑会長	P66 の用語解説に、「グリーン化（GX)」を加えた方が良い。

事　務　局	解説に追加する。
富 岡 委 員	P16 の生活用原単位が 200Ｌ／人・日で収束する根拠を示してほしい。
事　務　局	国の水道ビジョン策定検討委員会（平成 24 年 3 月）で示された資料「将来の事業環境」を参照している。
富 岡 委 員	石綿管はどの管種に更新する予定か。
事　務　局	ダクタイル鋳鉄管ＧＸ型又は水道配水用ポリエチレン管（青ポリ）を予定している。
富 岡 委 員	スマートメータ導入の具体策(スマホ電波の利用や電気･ガスとの協働など)はあるのか。また、市内全戸に導入する計画なのか。
事　務　局	改定後の計画期間内では、区画整理事業等の開発地域での検討としており、具体策はありません。今後検討を行い次期計画にスマートメータ導入について明示できればと考える。
富 岡 委 員	水道料金を 5 年ごとに 20％上げるようだが、市民の理解は簡単に得られないと思われるので、広報を強化する必要があると考える。
事　務　局	今後、管路や施設更新の財源確保のため、定期的な料金改定が必要となることから、市民の皆様へは、広報紙やホームページ等を活用し、周知を図っていく。 書面会議の結果、参加委員全員より異議なしの回答あり。 以上で終了。

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和７年１２月１８日

署名委員　　富岡　透（自署）　　署名委員　　平塚　史子（自署）